

『将来、働くために何を育てておけば良いか？』

社会福祉法人あかねの会 支援アドバイザー 吉田由紀子

あかねの会の18才以上の人たちを見ていると、知的障がいが軽度であれば企業に就労できている訳ではありません。

一般就労している人たちが、どんな力を持っているか？長く就労できている人たちを見て、何を育てておけば良いかを分析してみました。

①基本的な生活習慣が身についている

- ・決められた時刻に起き、身の回りのことを自分でする
- ・決められた時刻に家を出て、交通機関を使って通勤できる

②仕事上、指示された内容を理解して、その通りに作業を進めることができる

- ・指示された仕事が終了した時に、報告ができる
- ・必要に応じて、困ったことを伝えることができる（トイレに行きたい、体調が悪いなど）

③自分のしたことで、人が喜んでくれたことが自分の喜びになる気持ちが育っている

④仕事内容

- ・パソコンが打てるか？
- ・掃除ができるか？
- ・掃除道具を使えるか？
- ・シュレッダーができるか？
- ・文具が使えるか？（ホッチキス、セロテープ、穴あけパンチ等）
- ・食器洗いができるか？
- ・雑巾を洗い、拭き掃除ができるか？